

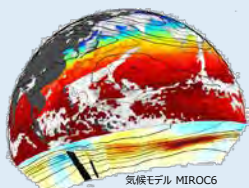
## 5. 海洋調査及び海洋科学技術に関する研究開発の推進等

### ○気候変動適応戦略イニシアチブ(文部科学省)

10.7億円(R2当初:11.3億円、R2第3次補正:7.6億円)

#### 統合的気候モデル 高度化研究プログラム

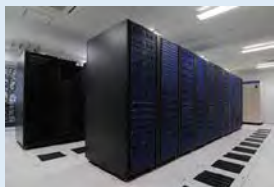
- ・全ての気候変動対策の基盤となる気候モデルの開発等を通じ、気候変動メカニズム(地球規模における窒素循環及び炭素循環メカニズム等)を解明。
- ・ニーズを踏まえ、気候モデルを高度化し、農業関係の収量予測、防災対策等の適応策に必要な気候予測情報の創出を実施。
- ・気候変動に関する政府間パネル(IPCC)を通じて、国際的な気候変動に関する議論をリード。



独自の全球気候モデル

#### 地球環境データ統合・解析プラットフォーム 事業

- ・データ統合・解析システム(DIAS)を活用して地球環境ビッグデータ等の利活用を推進するとともに、国、自治体、企業等の意思決定に貢献する地球環境データプラットフォームの実現を目指す。
- ・地球観測に関する政府間会合(GEO)やIPCC等を通じた国際貢献、学術研究への利活用を一層推進。
- ・地球環境ビッグデータを利活用した気候変動、防災等の地球規模課題の解決に貢献する研究開発を推進。



データ統合・解析システム(DIAS)

### ○GOSATシリーズによる地球環境観測事業等(環境省)

31.3億円の内数(R2当初:21.8億円の内数、R2第3次補正:41.8億円の内数)

地球全大気の温室効果ガス(GHG)濃度の状況を把握し、気候変動に関する科学の発展および政策への貢献を継続的に果たすため、宇宙基本計画に基づき文部科学省と共同でGOSAT-2の運用や、3号機(GOSAT-GW)の開発等を行う。

情報発信等

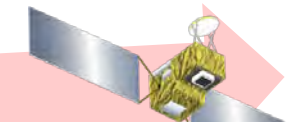
GOSAT  
(2009年打上げ、運用中)

GOSAT-2の運用



GOSAT-2  
(2018年打上げ、運用中)

3号機の開発



GOSAT-GW  
(2023年度打上げ予定)

### ○革新的深海資源調査技術(科学技術イノベーション創造推進費の一部)

(内閣府)

29.4億円※(R2当初:30.2億円※)

広く海洋鉱物資源に活用可能な水深2,000m以上の海洋資源調査技術、生産技術の開発・実証に向けた取組を世界に先駆けて進める。



※戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期課題「革新的深海資源調査技術」の配分額。

### ○海域で発生する地震及び火山活動に関する研究開発(文部科学省)

19.4億円(R2当初:18.5億円)

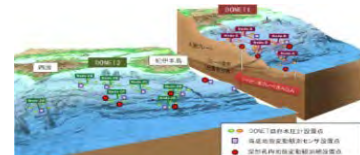
海底地殻変動を連続かつリアルタイムに観測するシステムを開発・整備するとともに、海底広域研究船「かいめい」等を活用し、南海トラフ地震発生帯等の広域かつ高精度な調査を実施する。また、新たな調査・観測結果を取り入れ、地殻変動・津波シミュレーションの高精度化を行う。さらに、海域火山活動把握のための観測技術の開発を行う。



地球深部探査船「ちきゅう」



海底広域研究船「かいめい」



海底地殻変動観測システムイメージ

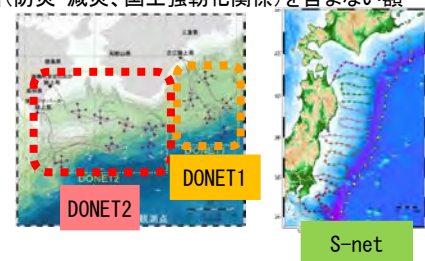
### ○海底地震・津波観測網の構築・運用(文部科学省)

10.7億円(R2当初※:10.2億円)

※R2年度当初予算額については、「臨時・特別の措置」(防災・減災、国土強靱化関係)を含まない額

南海トラフ地震想定震源域の西側にある高知県沖から日向灘にかけて、新たに南海トラフ海底地震津波観測網(N-net)を構築する。

また、南海トラフ沿いと日本海溝沿い(東北地方太平洋沖)に整備したリアルタイム海底地震・津波観測網(DONET及びS-net)を引き続き運用する。



地震・津波観測監視システム(DONET)、  
日本海溝海底地震津波観測網(S-net)

## 6. 離島の保全等及び排他的経済水域等の開発等の推進

### (1) 離島の保全等

#### ○沖ノ鳥島の戦略的維持管理(国土交通省)

**9,204.2億円の内数**(R2当初※:8,961.3億円の内数、  
R2第3次補正:4,024.4億円の内数)

※R2年度当初予算額については、「臨時・特別の措置」  
(防災・減災、国土強靭化関係)を含まない額

本土から約1,700km離れた外洋上に位置し、極めて  
厳しい気象条件下にある沖ノ鳥島の恒久的な保全を  
推進するため、計画的・予防保全的な戦略的維持管  
理を実施。



沖ノ鳥島全景



北小島



東小島

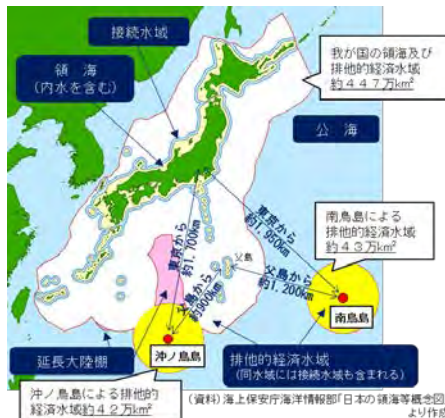


観測所基盤

#### ○特定離島における活動拠点整備・管理(国土交通省)

**108.0億円**(R2当初:108.0億円)

特定離島(南鳥島、沖ノ鳥島)において、  
排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利  
用に関する活動の拠点として、船舶の係留、  
停泊、荷さばき等が可能となる特定離島港  
湾施設を整備するとともに、国による港湾  
の管理を実施する。



【沖ノ鳥島】



【南鳥島】

#### ○離島における観測活動実施(国土交通省)

**2.5億円**(R2当初:2.6億円)

離島の気象・海象観測施設等の整備等及び適切な維  
持管理を進めるとともに、地上・高層の気象観測、温室  
効果ガス、日射放射等の観測を継続して実施する。



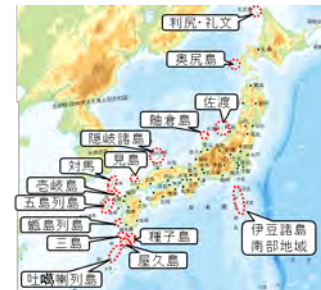
#### ○特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持等のための取組の推進(内閣府)

**50.3億円**(R2当初:50.4億円、R2第3次補正:2.6億円)

・関係地方公共団体が実施する次の取組につい  
て支援。

1. 航路・航空路運賃の低廉化
2. 物資の費用負担の軽減
3. 雇用機会の拡充
4. 滞在型観光の促進

・特定有人国境離島地域において創業又は事業  
拡大等を行う事業者に対するスタートアップ融資  
を行う地域金融機関等に対して、利子補給を行う。



#### ○「離島の活性化に対する支援等の離島の振興」のうち、離島活性化交付金等(国土交通省)

**14.6億円**(R2当初:15.1億円、R2第3次補正:3.1億円)

離島地域の振興を図るため  
設けられた離島活性化交付金  
を活用した支援のほか、ICTな  
どの先端技術の実装を通じて  
離島地域の課題を解決する  
「スマートアイランド」の取組を  
推進する。



再生可能エネルギーによる  
発電のイメージ  
(長崎県五島市)

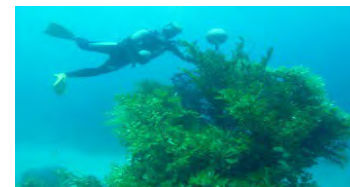


血液検体搬送の実証実験  
(広島県大崎上島町)  
写真提供:広島大学病院

#### ○離島漁業再生等に対する支援(農林水産省)

**14.6億円**(R2当初:14.6億円)

漁場の生産力の向上など漁業の再生等に共同で取り組む離島の漁業集落や、漁業・海業の起業又は事業拡大による雇用機会の拡充を図るための取組を支援する。



### (2) 排他的経済水域等の開発等の推進

#### ○排他的経済水域における漁場整備の推進(農林水産省)

**21.0億円**(R2当初:25.0億円、R2第3次補正:3.5億円)

排他的経済水域において、国が資源の回復を促進するための施設整備を資源管理措置と併せて実施することにより、当該海域の水産資源の生産力を向上させ、水産物の安定供給の確保を図る。